

# 何が起きるか分からない 未来は見えないから面白い

ライフネット生命保険の開業から、もう10年が過ぎました。ところが今でも、周囲の人から「飽きないの?」「いつまでやるの?」と聞かれることがよくあります。そのたびにいつも不思議に思いますね。時に新規事業をけん引したり、海外の株主とガチガチの交渉に臨んだり、かと思えば若い社員たちと交流したり、経営者の仕事は多岐にわたり、全く飽きることありません。

何よりも、僕は人が好きなんです。仲間と一緒に何かを成し遂げたい。それも、多くの人の人生に影響を与えるような成果を出して、社会に足跡を残せたらと思っています。そして、どうせ大きなことに挑戦するのなら、自分にしかできないことにチャレンジしたい、という気持ちも強くあります。振り返れば、僕はずっとこの3つを追い求めてきました。僕にとってライフネット生命は、まさにこの全てを満たす仕事なのです。

おそらく「飽きないの?」と聞いてくる人は、保険業界は規制に縛られていて不自由だというイメージを持っているのではないかと思います。でも、だからこそ自分たち次第で、

いろいろな挑戦ができるのではないのでしょうか。

もともとライフネット生命を開業した当初は、「ネットで生命保険を売る」というだけで、随分注目を集めたものです。まだ小さな会社ながら、それまでの常識を打ち破る商品やサービスを次々に打ち出して、世の中にさまざまな問題提起をしてきました。この10年の間、僕たちの存在が、業界に一石を投じ、改革を押し進めるきっかけになったと自負しています。でも10年も経てば、保険をネット販売するなど、それほど珍しいことでもなくなってきました。これからの10年、20年も、社会にインパクトを与える存在であり続けるために、まさに今、新しい挑戦に打って出たところです。

## 本に必要なのは生活サポート 「保険の常識」を変えていく

実は先日、会社として初めて、がん保険を発売しました。もちろんがん保険自体は競合他社がすでに多くの商品を販売しています。その中で、自分たちならではの価値は何だろう

「ただだとしたら、僕らはプラスアルファの部分もカバーしていきたい。単なるお金のやりとりにとどまらず、お客さまの生活までサポートしていこうと考えています。なぜならお金は、生活するための手段に過ぎないのですから。

最近では「フィンテック」という言葉も話題ですが、テクノロジーを活用した新しい金融サービスという意味では、僕らはまさに「元祖フィンテック」。今、お客さまとスマートフォンで最も身近につながっている生命保険会社は、創業以来ネットでサービスを提供し続けてきた僕たちだと胸を張って言えます。極論すれば、スマホを介してお客

さまと僕たちは24時間つながれるわけです。従来の保険サービスは、保険金の支払い時という「点」でしかお客さまと接点を持たないケースがほとんどです。が、僕たちはそうしたお客さまとの関係性をガラリと変えられる可能性を持っている。有事の際もそうでない時も、常に「保険×情報×サービス」による生活サポートを提供できる存在へと進化していきたいと思っています。

たまたまタイミングが重なったのが、創業から10年を超えて、いろいろなことが新たに動き出しています。最近、久しぶりに攻めている。実感がありません(笑)。

社内的にも大きな変化を迎えました。一緒に会社を立ち上げた出口(治明氏)が2017年をもって会長職を退き、経営陣には30代の新取締役が2名加わりました。

15万人ものお客さまからの信頼と、従業員とその家族の生活、社会からの期待。背負っているものの重みを、改めてかみしめています。でも同じくらい「よし、やってやるぞ」という気持ちも湧き上がっています。きっと今後も予想外の出来事がたくさん起こることでしょう。僕はそれにとってもワクワクしています。結末の分かっている小説を読んでもつまらない。明日何が起こるか、1年後どうなっているか分からない人生の方がずっと楽しいと感じています。

ライフネット生命保険株式会社  
代表取締役社長

# 岩瀬大輔 氏

DAISUKE IWASE



## 岩瀬大輔の人生論

# 自分にしかできない挑戦で 成果を出し、社会に足跡を残す

いわせ・だいすけ / 1976年生まれ。98年、東京大学法学部を卒業後、ボストン・コンサルティング・グループ、リップルウッド・ジャパン(現RHJインターナショナル)を経て、ハーバード大学経営大学院に留学。同校を日本人では4人目となる上位5%の成績で修了。2006年、副社長としてライフネット生命保険を創業。2013年に代表取締役社長就任。世界経済フォーラム(ダボス会議)「ヤング・グローバル・リーダーズ2010」選出。著書に「生命保険のカラクリ」(文藝春秋)、「入社1年目の教科書」(ダイヤモンド社)などがある

